

生活設計とリスクへの備え

本日の授業内容

1. 生活設計とお金
2. リスクへの備え
3. 公的保障と私的保障
4. まとめ

1. 生活設計とお金

～将来について考えてみよう～

将来の目標を持っていますか？

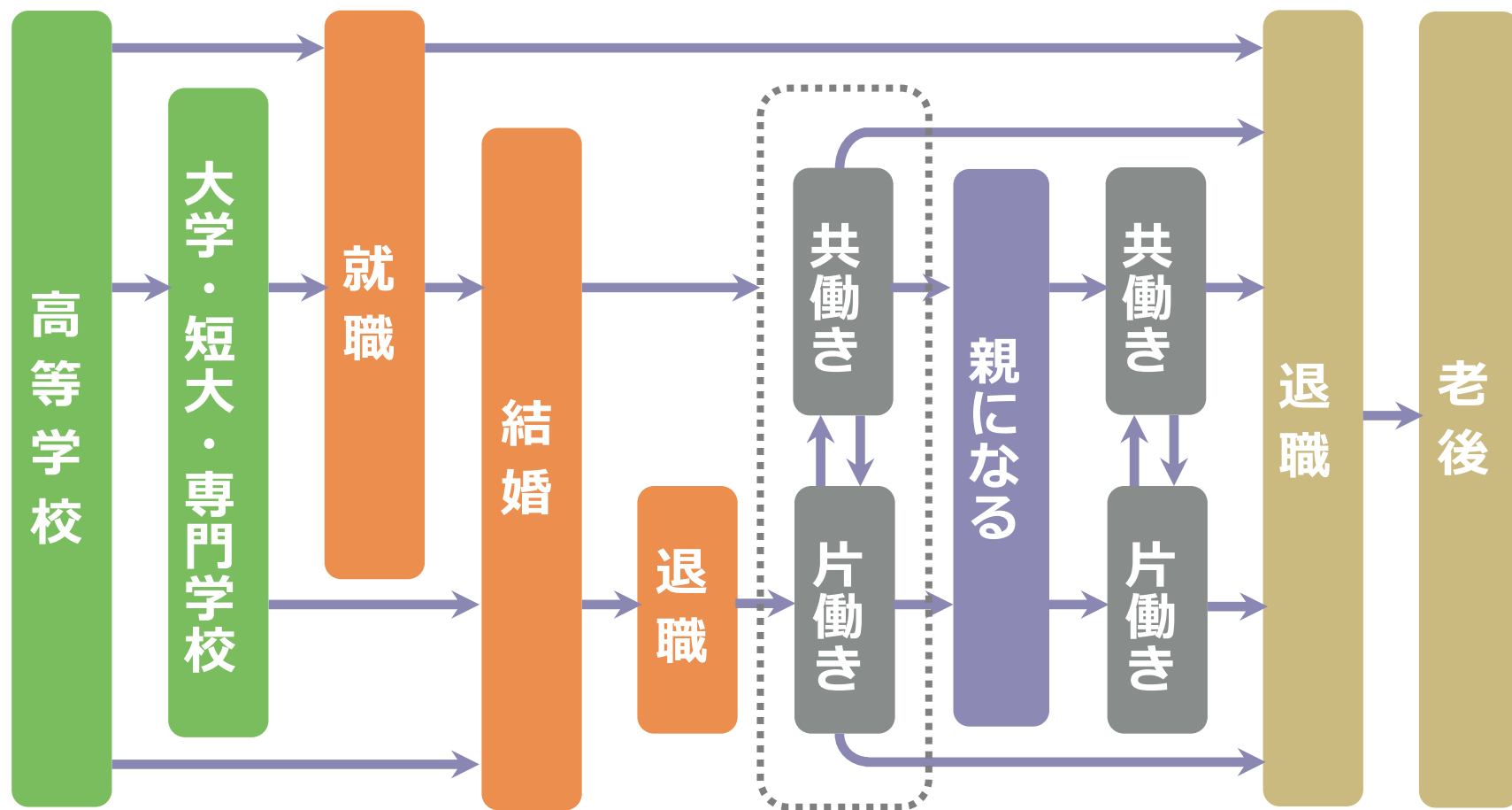
- ・卒業後はどうしたい…？
- ・どんな職業に就きたい…？
- ・結婚したい…？
- ・子どもはほしい…？

生活設計とは、
自分の将来について**具体的に考えること**



さまざまなライフコース

それぞれの生き方を「ライフコース」とよぶ



さまざまなライフイベント



進学



独立(1人暮らし)



結婚



親になる



住宅購入

ライフイベントにかかる費用 ①



結婚

【問題1】結婚にかかる費用はどれくらい？

注 挙式、披露宴・ウエディングパーティーにかかった総額

A.約250万円 B.約350万円 C.約450万円

【答え】B.約350万円⇒ (平均) 343.9万円

注 親、親族等からの結婚援助費用は考慮せず

* リクルート「ゼクシィ結婚トレンド調査2024」調べ



住宅購入

【問題2】新築の土地付き注文住宅を購入するのに必要な費用はどれくらい？

注 建設費・土地取得費の平均金額

A.約3,000万円 B.約5,000万円 C.約7,000万円

【答え】B.約5,000万円⇒ (平均) 5,007万円

* 住宅金融支援機構「フラット35利用者調査」(2024年度)

ライフイベントにかかる費用 ②



教育費

【問題3】子ども一人にかかる教育費は
どれくらい？

注1 幼稚園～高校は公立、大学は私立文系の場合 注2 授業料等を費用負担した場合

A.約500万円 B.約750万円 C.約1,000万円

【答え】C.約1,000万円⇒ **(平均) 1,026万円**

注 教育費とは別に養育費（食事、衣服費等）が必要

(万円)

	公立	私立
幼稚園 (3年間)	53	104
小学校	220	1,044
中学校	163	468
高等学校	179	354

(万円)

	公立	私立
大学 (文系)	243	411
大学 (理系)		542
大学 (医歯系)	350	2,354
短期大学 (2年間)	95	202

* 文部科学省「子供の学習費調査」(令和5年度)

注 ①2019年10月から3～5歳までの子どもが利用する幼稚園・保育所の利用料は無料。

②2020年4月から公立・私立共に所得要件を満たした世帯を対象に授業料への支援金を給付。

* 国立・公立は、文部科学省令による標準額

* 私立大学学費は、文部科学省「私立大学入学者に係る初年度学生納付金平均額調査」(令和5年度)をもとに生命保険文化センターが作成

注 2020年4月から「高等教育の修学支援新制度」の適用により、要件を満たす場合は授業料等の免除または減額。

収入と支出のバランスを考える

○高校生の例

収入

毎月のお小遣い 6,000円

支出

友達との交際費 2,500円	趣味 1,500円	娯楽費 1,000円	黒字 1,000円
-------------------	--------------	---------------	--------------

* 2025年度「高校生の消費生活と生活設計に関するアンケート調査」をもとに生命保険文化センターが作成

○社会人の例（若年夫婦・月額）

収入

勤め先（可処分所得） 495,531円（世帯主＋世帯主以外）

ライフイベント
に備える

支出

食料費 26.5%	交通 通信費 16.3%	教養 娯楽費 10.0%	交際費 3.2%	被服費 3.8%	住宅 11.6%	保険医療 4.6%	その他 23.9%	黒字 224,383円
--------------	--------------------	--------------------	-------------	-------------	-------------	--------------	--------------	----------------

消費支出
271,148円

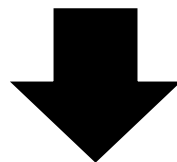
※若年夫婦は、世帯主が34歳以下の二人以上世帯のうち勤労者世帯を指す

* 生命保険文化センター「ライフプラン情報ブック（2026年2月）」

- ① **生活設計と資金計画**は、セットで考える必要がある。

【参考】

社会人になると生活自体の出費などにお金がかかる。



働くなど収入を確保することが、自立した生活を設計する大切な要素となる。

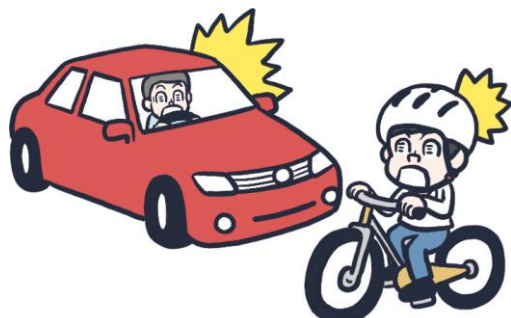
2. リスクへの備え

～ 3つの保障を理解しよう～

リスクとは何か

リスクとは…

起きてほしくないことで、起きるとお金がかかること



交通事故



病気で入院



自転車の盗難



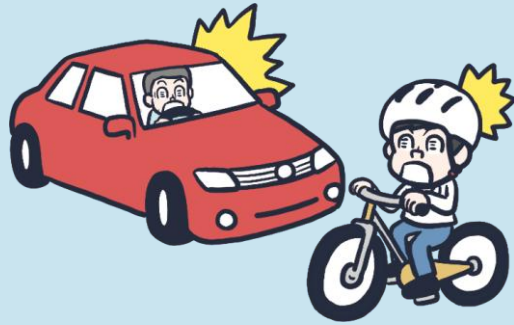
介護



スマホを破損

生活設計に重大な影響を与えるリスク

交通事故

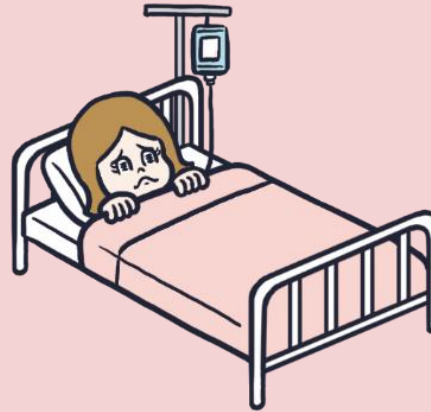


**A. 交通事故の
年間発生件数
290,895件/年**

→ 約108秒に1件

* 警察庁「交通事故発生状況」(令和6年)

病気で入院

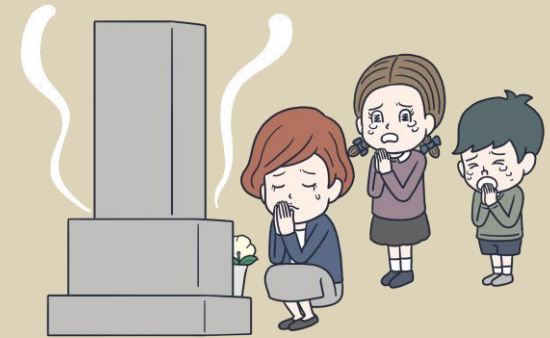


**B. 1日平均
新入院患者数
44,210人/日**

→ 約2秒に1人

* 厚生労働省「医療施設（動態）調査
・病院報告」(令和6年)

一家の働き手が 亡くなった



**C. 65歳までに
亡くなる人の割合**

**男性約10人に1人
(10.4%)**

**女性約18人に1人
(5.6%)**

* 厚生労働省「簡易生命表」(令和6年)

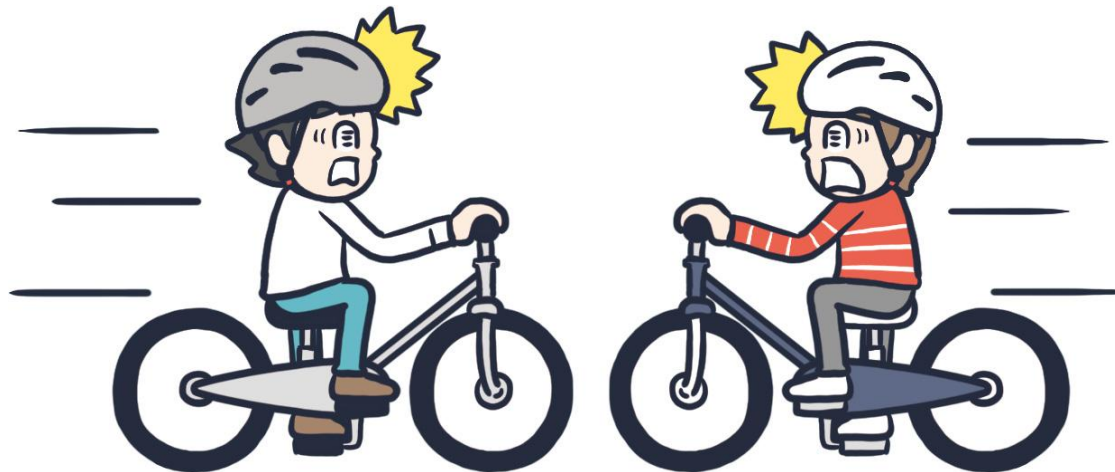
リスクに直面した高校生の事例

男子高校生が昼間、交通ルールを守らずに自転車で車道を斜めに横断していたところ、対向車線を自転車で走っていた男性会社員と衝突してしまい、男性会社員に重大な障害（言語機能の喪失等）を負わせてしまった。

（東京地方裁判所、2008年6月5日判決）

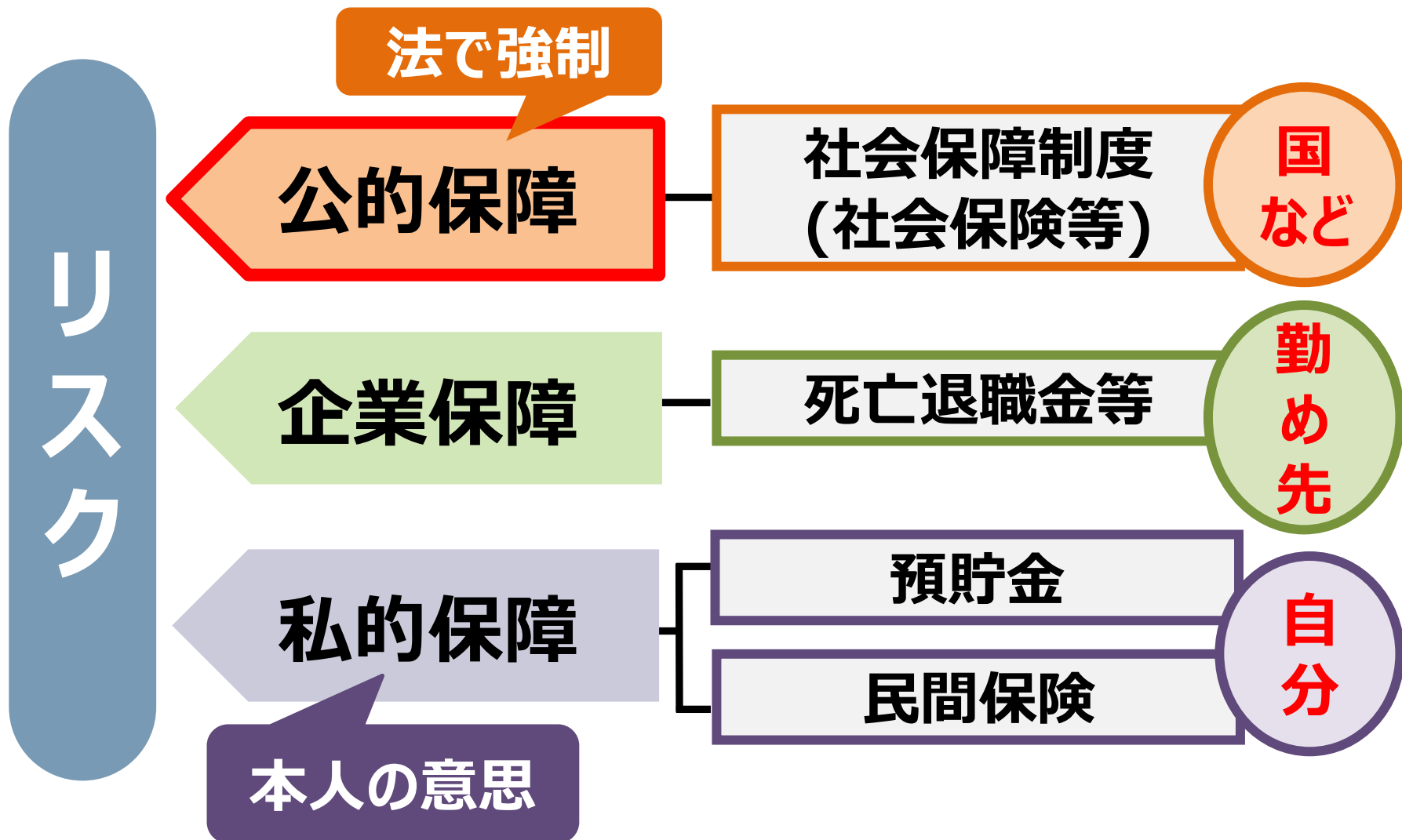
* 一般社団法人日本損害保険協会「ファクトブック2025」をもとに生命保険文化センターが作成

賠償額 被害者の損害に対して、加害者が支払わなければならない金額 → **9,266万円**



リスクに備える3つの保障

保障：もしものときに生活を守るもの



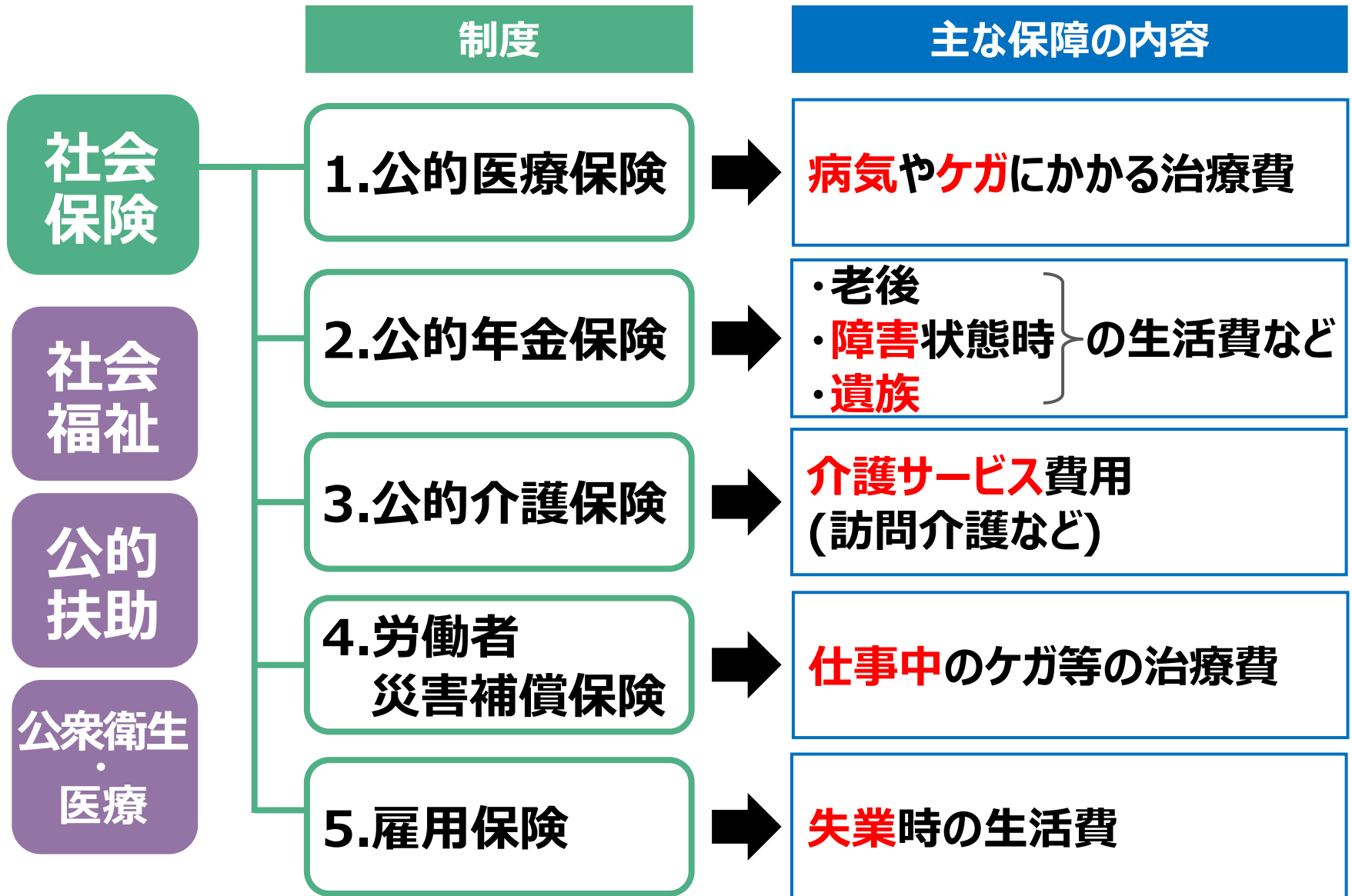
まとめ②

- ① 生活設計と資金計画は、セットで考える必要がある。
- ② リスクに対して3つの保障手段で備えることができる。
- ③ **公的保障**と**企業保障**で不足する部分を**私的保障**で補う。

3. 公的保障と私的保障

～国からのサポートと自分たちで準備するもの～

社会保障制度の概要



困ったときに受けられる公的保障を考えてみよう

それぞれの状況で、どの社会保険から保障が受けられるか線で結んでみよう

状況

制度

公的医療保険

公的年金保険

公的介護保険

労働者災害補償保険

雇用保険

定年退職して老後の
収入が無くなった

会社が倒産し、
失業した

介護が必要な状態になった

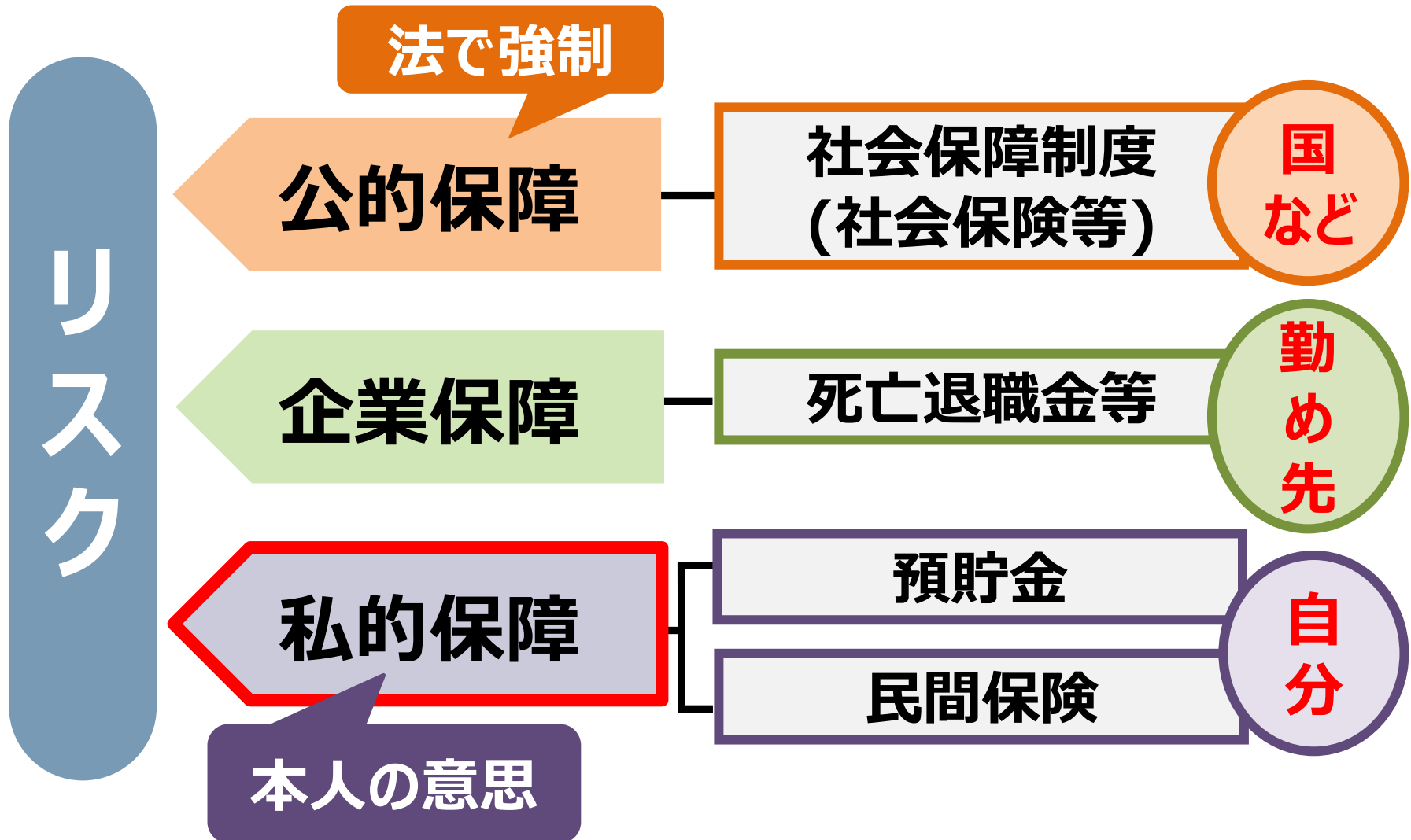
一家の働き手が
亡くなった

病気で入院した

会社員が仕事
でケガをした

リスクに備える3つの保障

保障：もしものときに生活を守るもの

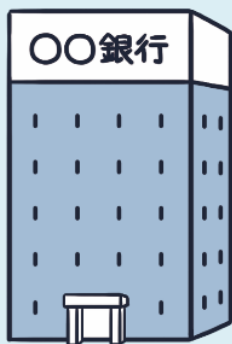


預貯金と民間保険①

預貯金



お金を預ける



お金を引き出す

お金が必要になると

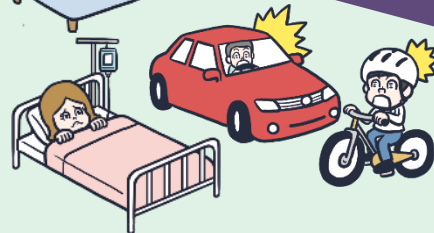
民間保険



お金(保険料)を支払う



お金(保険金)を受取る

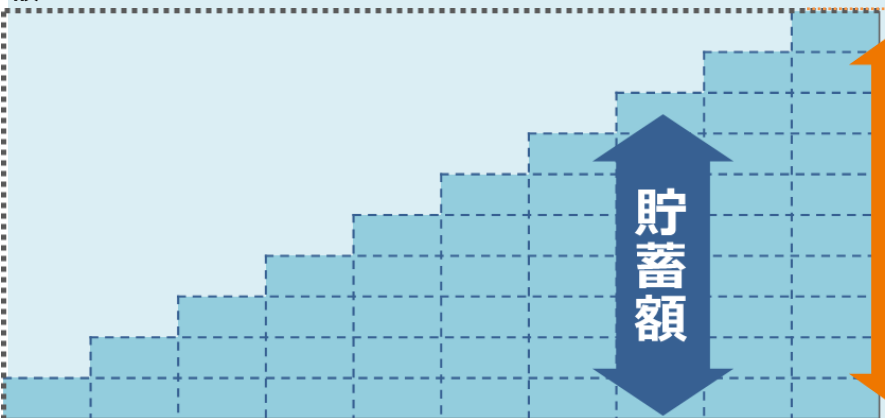


リスクの起きた人が

預貯金と民間保険②

預貯金

目標額

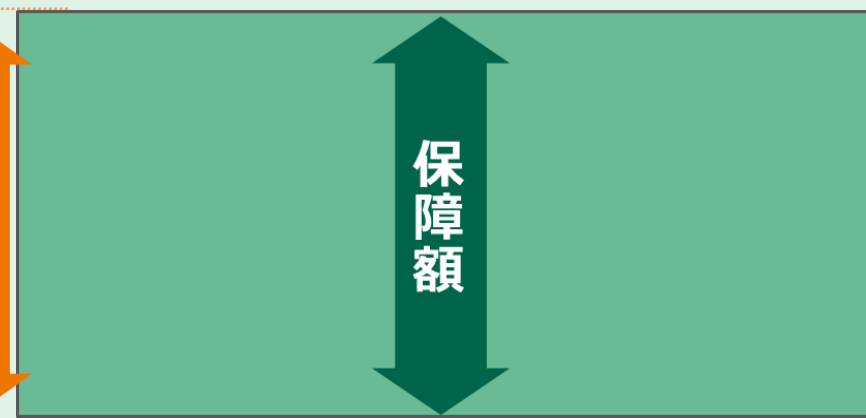


30歳 40歳
貯蓄額は毎年100万円（総額1,000万円）

特徴

**さまざまな目的の
ために貯める**

民間保険



30歳 40歳
保険料は毎年約3万円（総額約30万円）

特徴

**特定の損失
に備える**

注 ①預貯金は利子や税金などを考慮しない金額。②保険料は男性（30歳）契約で、保険期間10年、保険金額1,000万円の定期保険の例。実際の保険料は、保険種類や契約内容、生命保険会社によって異なる場合があります。

「預貯金」と「民間保険」の違い③

預貯金

メリット

- 貯めたお金は自由に使うことができる。
- 途中で引き出しや貯めるペースが自由。
- 預けた金額に応じて利子がつく。

デメリット

- 途中で病気やケガ等、リスクが発生した場合に、**必要な金額**が貯まっているとは限らない。

民間保険

- 途中いつでも、病気やケガ等のリスクが発生した場合に、あらかじめ**決められた**金額を受け取ることができる。

- 結果的にリスクが発生しなくても、決められた金額を保険料として支払う必要がある（保険の種類によっては一部戻ってくる場合がある）。

保険のしくみ①

100人の部員がいる
サッカーチーム



毎年
5人の部員が
骨折を
している



対策をしても
ケガは減らない...



治療にかかる費用は
1人10,000円



保険のしくみ②

全員で治療にかかる
費用を準備すれば
よいのでは？



治療にかかる費用は
全員分で
 $10,000\text{円} \times 5\text{人}$
➡ $50,000\text{円}$



$50,000\text{円} \div 100\text{人}$
➡ 1人あたり
年間500円



骨折した生徒は
 $10,000\text{円}$ を受け取り、
治療費にあてる

保険のしくみ③

ケガに備えるために……

それぞれが
出し合う費用



×



100人



¥ 10,000

¥ 10,000

¥ 10,000

¥ 10,000

¥ 10,000



骨折した5人は10,000円ずつ受け取り、治療費を支払える

生命保険と損害保険

生命保険

対象

人

受取額

あらかじめ約束した
金額
(定額給付)

備えられる
リスク

- 死亡
- 病気・ケガ
- 老後
- 介護



など

損害保険

モノ

事故により発生した
損害額
じっそんてんぽ
(実損填補)

- 交通事故
- 火事
- 台風や地震
- ケガ

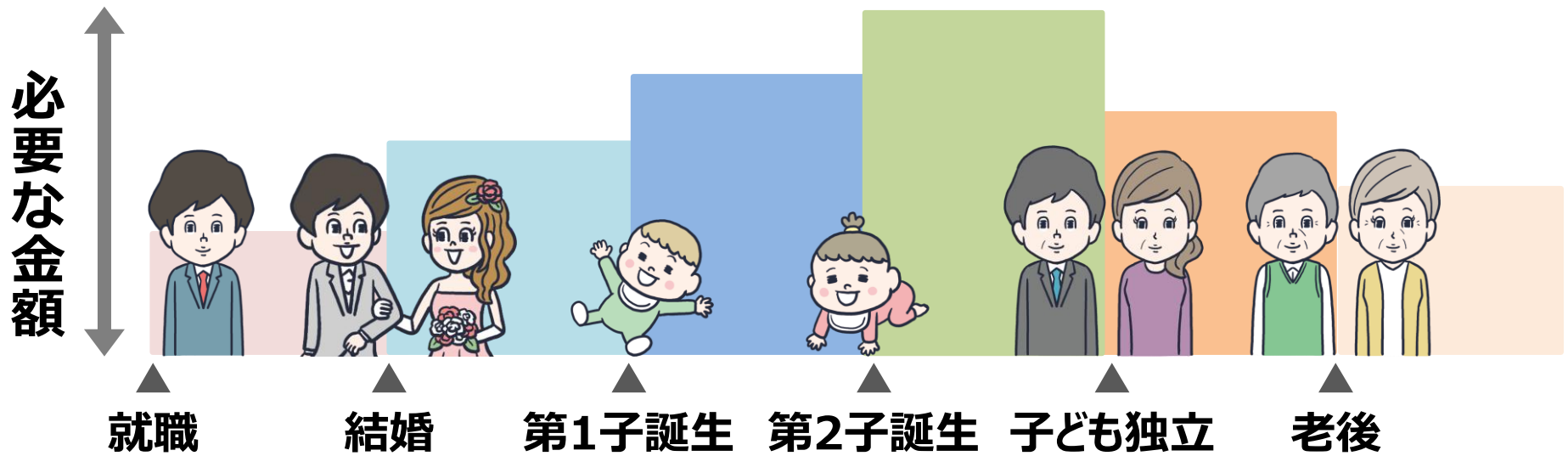


など

ライフステージによる必要な保障の違い

家族の状況の変化などで、必要な保障の金額が異なります。

・亡くなったときに必要な金額（イメージ）



<結婚>

残される配偶者の収入状況に応じた死亡保障を検討する必要があります。

<出産>

遺族の生活費や教育費をまかなうために、より大きな保障が必要となります。

<子どもの独立・老後>

親としての責任は減るため、死亡保障の必要な金額はその分減少します。

まとめ ③

- ① 生活設計と資金計画は、セットで考える必要がある。
- ② リスクに対して3つの保障手段で備えることができる。
- ③ 公的保障と企業保障で不足する部分を私的保障で補う。
- ④ 家族構成や年齢などによって必要な保障は異なる。**生活設計**に応じて、リスクへの備えを考えよう。

4. まとめ

まとめ

- ① **生活設計**と**資金計画**は、セットで考える必要がある。
- ② リスクに対して3つの保障手段で備えることができる。
- ③ **公的保障**と**企業保障**で不足する部分を**私的保障**で補う。
- ④ 家族構成や年齢などによって必要な保障は異なる。**生活設計**に応じて、リスクへの備えを考えよう。